

令和4年度 第3学年 技術・家庭科(技術分野) 年間指導計画・評価計画(年間 17.5 時間)

目標	◎ 生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。 ◎ ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。
----	--

評価の観点 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

月	時間	題材名	題材のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)
4 5	3	D、情報に関する技術 「プログラミング」	プログラム言語を理解し自分でプログラムを考え実行できる。	・応用ソフトウェアの操作ができる。 ・自分で計画した動作をするプログラム完成下か。 ・自分の考えが作品に生かされているか
6 ◆ 7 9 10 11 ◆	10	A、技術ともの作り 「キーホルダー作り」	工具や機械を適切に使い、安全で効率のよい作業をさせる。 工具や機械を適切に使い、安全で効率のよい作業をさせる。 材料の性質について知らせる。 材料に適した加工法を知らせる。 作品の作業手順や組み立て方法は正しいか。	制作に必要な材料や工具使って制作できるか。 作品を計画通り完成させたか。
12 2 3	4.5	D、情報に関する技術	ソフトウェアの使い方を理解させる	ソフトの基本的な操作方法を理解して作品が制作されているか

◆定期考査 ◇道徳 ★オリパラ教育 ☆人権教育

評価計画(各観点の評価方法)

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	【生活や技術についての知識・技能】 生活や社会で利用されている技術についての基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	【生活を工夫し創造する能力】 生活や社会における技術に関わる問題を見出して課題を設定し、その解決を目指して、技術を評価、選択、管理・運用、改良、応用している。	【主体的に実践する態度】 進んで技術と関わろうとするとともに、主体的に技術に関する知識・技能を身に付け、よりよい生活や持続可能な社会を構築するために適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとしている。
評 価 の 方 法	【下記の評価資料にて、絶対評価を行う】 ○製作プリント ○定期考査 ○ワークシート ○作品 ※課題や作品等の状況からも知識・技能を評価する。	【下記の評価資料にて、絶対評価を行う】 ○定期考査 ○ワークシート ○製作作品の内容	【下記の評価資料にて、絶対評価を行う】 ○学習用プリント ○ワークシート ○製作の評価と反省

学習のアドバイス

(1)授業態度	授業では作業の進め方やコツ、大切なことなどの必要なことを話します。話の内容が、確実に理解でき、作業が主体的にすすめられるような授業態度を求めます。具体的にこのような態度をというよりは、生徒の皆さんそれぞれが、主体的に取り組めるようになっているかが大切です。また、それは作業効率や作品の出来に大きく影響します。ですから自分からポイントを押さえて先生に助言を求めたり、意見をもらったりする姿勢が大切です。
(2)提出物	提出物は期限を守ることが大切です。また、提出に関して、不明なことや不確かなことは、自ら先生に聞きましょう。
(3)単元ごとのふりかえり	提出物や作品、定期考査などで、学習状況を自分自身で振り返られるよう技術の授業に精力的に取り組ましましょう。